

重点12 保護者・地域との協働の推進 / 3 コミュニティスクール

ねらい

平成18年度から3年間、保護者・地域の皆さんと学校が一体となった新しい学校運営や効果的な教育活動の実現を図るため、「コミュニティスクール調査研究事業」を実施しました。平成21年度は、本市の実情にあったコミュニティスクールのあり方の確立を図るため、コミュニティスクール運営推進校を指定し、その取組を進めました。

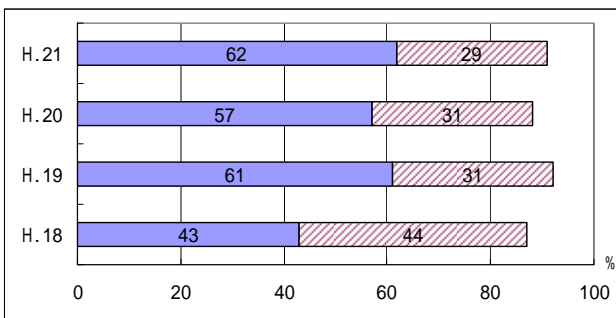
現状と課題

運営推進校の保護者・生徒アンケートより

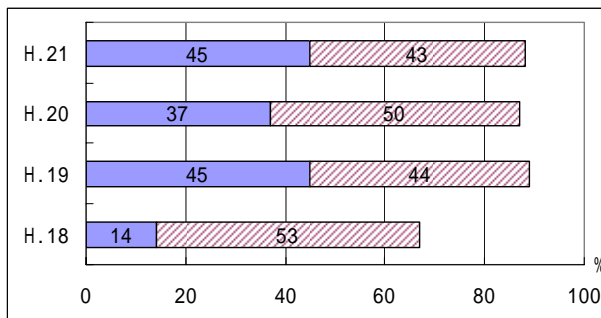
【凡例： ■ そう思う ■ 概ねそう思う】

中部中学校 生徒アンケート

「学校生活は楽しいですか」



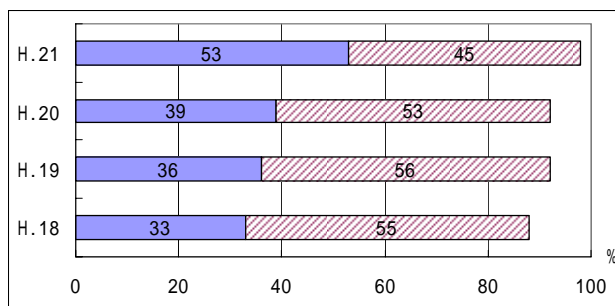
「地域や保護者に授業や行事などを参観していただくことはよいことである」



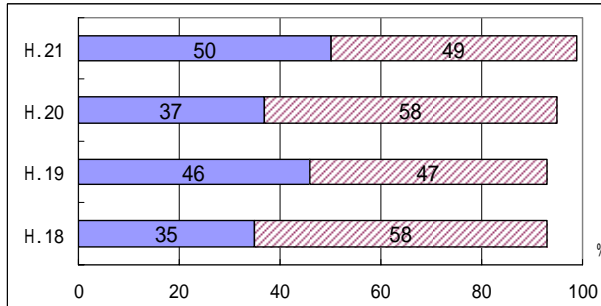
教職員以外の大人が学校に入り、活動を見守っていただいたり、声をかけていただいたりすることは、中学生にとってもプラスの環境として働いています。

中部西小学校 保護者アンケート

「学校の教育活動は全体的に見て満足できる状態にある」



「学校は、参加参画型の教育活動や体験活動の充実に力を入れている」

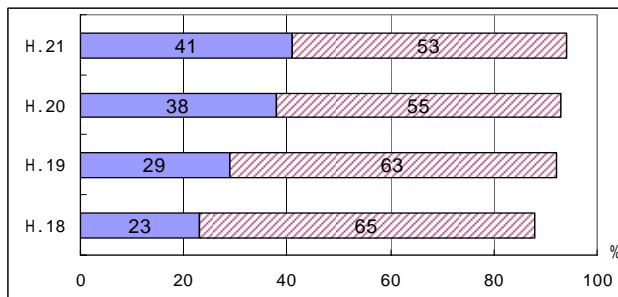


参加参画型授業やふれあいパトロール、図書・ベルマークのボランティア等、学校と地域との協働による取組が学校教育活動を充実させ、また、保護者・地域の皆さんが参画することで学校への理解が進み、学校への満足度が高まっています。

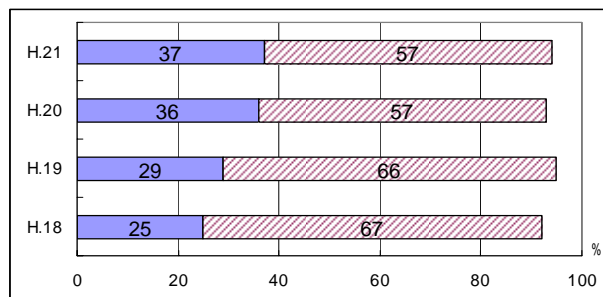
## 第5章 教育活動を支えるもの

### 八郷小学校 保護者アンケート

「学校・家庭・地域が協力・連携して  
子どもの教育や通学の安全にあたっている」



「地域の文化・自然・人材を学習に入れ、  
様々な体験活動を通じた授業に努めている」



図書・学校環境整備・教科・クラブボランティア，安全部会のパトロール等，学校と地域との協働による取組が学校教育活動の充実につながっていることを保護者の皆さんにも広く認識していただいています。

推進校の運営協議会委員の皆さんは，これらの取組を通して，「学校運営や教育活動への理解」を深め，「『学校・家庭・地域』のそれぞれが担う役割」についての認識し，「教職員とともに学校づくりを進める当事者としての意識」を高めています。

学校を核として保護者・地域の皆さんが協働するコミュニティスクールの取組により，「地域全体で子どもを育てよう」とする気運が高まっています。また，この取組は，学校運営や教育活動の充実だけでなく，「地域コミュニティづくり」にも役立っています。

### 今後の方向性

本市のコミュニティスクールは，「学校づくり協力者会議」をより発展させた組織として位置付け，単なる「地域に開かれた学校」ではなく，保護者・地域の皆さんが学校づくりに主体的に参画する「地域とともに作る学校」の実現を目指していきます。

今後，教育委員会はコミュニティスクールとして年次的に指定する学校を拡大し，「地域とともに作る学校」づくりを支援していきます。

コミュニティスクールの運営をより効果的なものにするため，教育委員会として「運営協議会に委譲する権限」や「学校の裁量権」をどこまで付与するのかといった課題については，今後も引続き検討し，本市の実情にあった運営協議会に係る規則を整備していきます。

#### 本市における運営協議会の役割

コミュニティスクールには，「運営協議会」を設置し，その取組を通して保護者・地域の皆さんが学校運営に参画していきます。

本市における「運営協議会」の役割は，次のとおりとします。

学校長が学校運営や教育活動の基本方針を示す「学校づくりビジョン」の承認を行います。

「学校づくりビジョン」の実現に向けた学校運営及び学校教育活動の充実について協議します。

保護者・地域の皆さんの学校運営や教育活動への参画や支援等のあり方について協議します。

学校の自己評価を受け，学校関係者評価を行います。